

## 時事の見方

2007.8.30

\*\*\*\*\* 第二次安倍内閣について \*\*\*\*\*

< 質問 >

第二次内閣改造が行われました。メンバーを見られて老師の受けとられた印象はどのようなものでしょうか。

< 回答 >

私はかなり充実した組閣だという印象を受けております。安倍総理が未経験だった処から、かなり思いがけない問題が次々と起きましたが、その間安倍内閣は、予算の方が心配になるほど、国民の為になるような政策を、2、3日毎に打ち出しておりましたから、国民の側では無意識の内に好意的な見方をして来始めたような印象を受けております。

< 質問 >

自民党の結束を図り、民主党に対抗する実力内閣なののでしょうか。

< 回答 >

勿論、参議院での票が足りませんから、強力な手は打てませんが、ひょっとすると、国会の解散までは持つのではないかという見方をしております。

< 質問 >

素人目には安倍首相を批判していた舛添氏を入閣させた意図はサプライズでしょうか、能力を買われたからでしょうか。

< 回答 >

私は舛添という人を良く知りませんので、何故入閣出来たのかが解らない実情です。

\*\*\*\*\* サブプライムローン問題について \*\*\*\*\*

米国のサブプライムローン（低所得者向け住宅融資の焦げ付き懸念して株価が大幅に下落いたしました。

< 質問 >

米国の経済を引っ張っていた住宅業界の加熱が懸念されておりましたが。ついにバブル崩壊かとの印象を受けました。見方は間違っておりますでしょうか。

< 回答 >

私は今年の4月頃から、一般が確信しているように果たして好景気が続くものか心配しておりましたので、今回サブプライムローンの破綻から起きた不況は、非常に根が深いという見方をしております。

イラク戦争が起こります前、私は「この不況は戦争を起さずに処理する事が出来るかどうか」、大変心配しておりましたが、やはりブツシュ政権のイラク攻撃が、世界を不況から救ったという見方をしております。

したがって今回の場合も、余程思い切った世界的な金融政策を実行しない限り、世界的な不況を防止することが避けられ

ないと思います。

これは私が夢で見た考えとしておいて頂きたいのですが、原子兵器の製造を口実にして、イランを武力で攻撃する位の対策を取らないと、世界的な不況を防止する可能性が少ないのではないかという見方をして居ります。

< 質問 >

日本経済が立ち直った矢先の米国の経済失速予兆です。  
円高等で日本経済も打撃を受けそうですが。

< 回答 >

私はドル高がどうか、円安がどうかという問題と次元が違うように感じております。

< 質問 >

欧米の中央銀行は多量の資金を市場に供給して目先の混乱を回避しましたが、危機モードは解消されていません。この対応がベストかどうかは後の歴史が判定することですが、最終は個人が危ないと思うかどうかの世論の動向に左右されると思います。新聞紙上も楽観論と慎重論が交差しています。老師は楽観論でしょうか。

< 回答 >

過日、欧米の中央銀行が今回までは到底考える事の出来なかつたような膨大な資金を注ぎ込んで、世界の金融恐慌を回避しましたが、これは今日の世界金融に関し、経済理論、

金融理論、財政理論が如何に発達したかを示す事実であって、われわれは実に恵まれた文明時代の中に生存することが出来ている証左であると思います。

したがってこの問題は浅い常識論で処理することの出来る問題ではなく、全世界のあらゆる勢力と学術理論とを結集して対処すべき問題であり、楽観論とか悲観論とかと云う範囲を乗り越えて、慎重に解決すべき問題であるという見方をしております。

以上がご質問に対する小生の見方であり、今迄は学問的に解決することの出来なかつた重大問題を、理論的に解決することの出来る21世紀に生きて居る事を、大いに感謝したいと思います。

以上